Keio University

東村山三田会 Vol. 7

発行人：松田　博　編集人：東村山三田会会報編集委員会

さらなる発展を目指して

会長　松田　博

会員の皆様には日頃より、東村山三田会の活動に対しまして、ひとかたならないご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。

さて、設立 4 年目を迎えて 3 分の 2 の月日が経過しました。まさに 5 年目突入が目前というところです。5 年目の突入に向かって、東村山三田会も地に足がついた、という感が強くなってきました。それだけに今後は今まで以上に、会員皆様方、同好会メンバーの方々、役員の方々、共々一つの目標に向かって邁進していく事を願っています。それが東村山三田会を、より大きい存在とする基本的なあり方だと思っています。

今年度の前半は、４月に定期総会を無事終了して新年度をスタートしました。そして、７月・１０月に誕生会を開催しました。今年度の誕生会は、多少趣向を変え、単に月を追って区分けしての実施ではなく、月をランダムに編成した組み合わせを行いました。会員の皆様が、できるだけお互い顔みしりになり、会のイベント外でも交流できる機会が得られるようにと考えた次第です。こうした機会を捉え、会員同士のコミュニケーションに利用していただければ幸いです。

同好会においては、麻雀同好会はじめカラオケ同好会共に、東村山稲門会とのコラボレーションを行って友好を図っています。こうしたことで会員の行動範囲が広がっていければ、と願っています。

今年度後半のイベントに、**忘年会（12 月 17 日）と講演会（明年 1 月 20 日）**を企画しています。

「忘年会」は家族同伴とし、市民の方のミュージックベル演奏、加えて素晴らしい Xmas プレゼント等を用意しての楽しい交流の場を演出します。お楽しみください。

「講演会」は、前回の宇宙・星・地球を理解する講演に続き、今まさに私達が遭遇している地震のメカニズムと予防に関しての講演であり、これは一般市民の方達の参加を得ての開催です。慶應義塾の建学理念に、「学問によって社会に貢献する」があります。東村山三田会がこの理念に少しでも近づき、その一端でも実現できるようにといった思惟を込めております。

社会に貢献する、という事と同じに、福沢先生の呼んだ「社中」（慶應義塾関係者：教職員・塾生・塾員を指す）があります。ここには、慶應義塾独特の連帯感を根底に持ち、さらに塾の絆を強めていく思想が含まれています。東村山三田会も会員同士の絆を、いろんな活動を通してさらに強めていきたいと考えております。会のさらなる発展に、会員の皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

「第６回デュオの会コンサート」が開催されました

斉藤 忠義

10 月 29 日（日）、「富士見公民館ホール」にて開催されました。当会では、地域貢献の一環として昨年より、このコンサートを協賛しております。紿田副会長（ヴァイオリニスト）が加わり、演奏の幅も増えたため、今年は演奏時間を倍増させることになりました。

催しのチラシは、昨年同様に市内の公共施設に置かせていただきましたが、富士見公民館のチラシは毎週補充するような状況で、予約や問い合わせも多く、満席の期待感もありました。当会購入のチケットも稲門会や東村山合唱団などの協力もあり、完売することができました。

ところが、開催日は運悪く、台風の影響で朝から風雨が強く、幼少のお子さん向けのコンサートでもあるため、空席だらけの会場が目に浮かびました。

リハーサル中に空席の有無を問う電話で、不安が期待感に代わり、開場時間になると昨年より若干人数が少なかったのですが、遅れて到着した家族も多く、開演時には、ほぼ満席となりました。第１部は、「ピアノで感じるフランス音楽」と題して上野、星田さんのピアノ演奏、後半は紿田さんの「タイスの瞑想曲」など、曲の解説付きでの演奏、プッチーニの「誰も寝てはならぬ」は紿田さんの演奏で上野菜摘さんがソプラノで歌いました。第２部は上野菜摘さんのソプラノ独唱、上野、星田さんがフォーレの「ドリー組曲」を演奏しました。

フィナーレで、舞台の前列に飾ったハロウイン用のカボチャの風船等を子供たちにプレゼントしました。多くのお客様から、レベルが高い、美しい、品格があるなどの感想を受け、うれしく思いました。

慶応の色合いをどこにも出していないことが他の三田会とは異なる点であり、誇れる点です。

来年の開催日は、10 月 28 日（日）ですが、多くの会員の皆様が参加して頂ければと思います。

来年もご参加をお待ちしております。

誕生会（第 6 回と第 7 回）が開催されました

田中　康之

恒例になりました誕生会は 7 回を数え、楽しみにされている会員の方も多くいらっしゃると思います。

2017 年 7 月開催の第 6 回誕生会、2017 年 10 月開催の第 7 回誕生会について報告いたします。

第 6 回は、1，4，7，10 月生まれの方が対象で、対象の会員 8 名、役員 5 名が参加、第 7 回は 2，5，8，11 月生まれの方が対象で、対象の会員 10 名、役員 4 名が参加しました。

第 6 回から、会場を東村山駅西口そばの和食「ひら川」に変更いたしました。店舗は小振りながら、三田会貸し切りとさせていただき、他のお客様を気にすること無く、とても話が弾んだ楽しい会になっています。

乾杯の後、楽しく歓談を進めながら、合間に一言近況報告や記念の花束贈呈などをはさみ、和気あいあいとした雰囲気で時間が過ぎていきました。62 歳の私にはほとんどの方が先輩になり、先輩方との色々なお話しで楽しく過ごさせていただきました。終了予定時刻を過ぎても皆さん話しは尽きず、盛り上がっていました。貸し切りで遅くまで対応いただいたお店の方に感謝です。最後に全員の集合写真を撮り、皆さんご機嫌のうちにお開きとなりました。

花束をいただくのは自分の結婚式以来何十年ぶりです。華やかさと少しの気恥ずかしさで帰宅しました。誕生会は、総会や忘年会などよりも参加人数の少ない懇親会で、より密度の濃い交流が図られますので、まだ参加されていない会員は、是非とも一度ご参加ください。

田﨑さん　新スタイル

初参加の阿部さん

同 好 会 通 信

慶 美 会(スケッチ同好会)　大滝 恒雄（７名）

【世話役　清水英男（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp　TEL　090-2655-9231】

慶美会（スケッチ同好会）のメンバーを紹介します。

（佐藤先生）奥様も絵を描かれて、互いに競って描いておられます。東村山の医師会の絵の展覧会、写真、手芸品、水彩、油彩などの展示会を年一回主催されています。性格を表す丁寧な画風です。

（千保先生）絵の先生から今からデッサンを覚えるには遅すぎるからどんどん描くことと言われ忠実に実行なさっています。作風はその時々で変わります。発展途上かもしれません。

（堀川さん）希望は色鉛筆の絵を描きたいとおっしゃり、コツコツ創作なさっておられますが、家事に時間を取られ思うように筆が取れないと嘆いておられます。きれいな絵をかかれます。

（清水さん）水彩一本やりであちこちに出かけ数多くの風景画をものにしておられます。３０分～１時間で作品を仕上げます。慶美会の世話を焼いていただき、会の後の飲み会（駅前の焼鳥屋・・・焼き鳥は勿論、湯豆腐が旨い）、スケッチの場所、モデルに姪御さんの娘さんを引っ張りだすなど皆お世話になっています。

（神野さん）塾のパレットクラブにおられて、今でもＯＢの應美会に出展されています。それと上野の汎美展にも年に一回５点ほど出しておられます。

（細川さん）最年少のメンバーで画歴も浅いのですが、ユニークな構図、テーマにチャレンジして急速に腕を上げ、描くのが楽しい様子がみてとれます。

（筆者大滝）子供の時から鉛筆、水彩、パステル、漫画など描くのが好きでしたが、思うような色が得られず、川口起美雄画伯の「油絵教室」（ＮＨＫ）のビデオを買って油や筆の使い方の勉強を始めて１０数年になるところで、この間描いた作品は百数十点になります。５月には仲間で催す自由が丘の「楽展」、８月には国立新美術館の「日美展」、９月には上野の森美術館の「日本の自然を美しく描く会」に出展しています。

このほか神野さんと東村山の絵画展に出展しています。

近々、新しいメンバーが加わるとか、楽しみにしています。

写真はスケッチ会で行った航空公園の日本庭園の作品です。

大滝 恒雄

細川　晃

清水 英男

俳 句 同 好 会　清水　英男　（８名）

【世話役　佐藤嘉江子（S57 年卒）　連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp　TEL　090-1734-7582】

昨年４月に参加させて頂き約一年半が過ぎましたが、会の中では一番の新人、初心者、そして高齢者です。

入会の直接のきっかけは、三田会のある酒席で世話人の方に誘われ、酔いに任せてその気になってしまったことですが、１０年来のスケッチ仲間のひとりに、自作の風景スケッチの傍らにそれに合った自作の俳句を書いている人がいて、なかなか趣があり素敵だなと思っていたことにもよります。

俳句については、芭蕉から始まり子規や虚子のような自然の中に身をおいた写生的な句が好きでしたが、自分で句を作ったことは殆ど無く、五七五調や季語を入れること位しか基本的な知識もなく始めました。厚顔の至りです。

初めての句会で決まりに従い気軽に３句を投句しましたが、選句の時に心優しい方が私の一句を選んでくださり、これならやれるかなと良い気になってしまい、今でもその方には感謝しています。勿論ベテランの方々から色々な厳しい参考になるご意見も頂きましたが。

その後歳時記や色々な入門書を購入したり、図書館で句集を読んだりして、少しでも先輩の皆様に追いつきたいと勉強を始めたのですが、それからが苦戦の始まりで、当初の気楽さはどこへやら、なかなか思うような句が作れず、句会でも選句に入れて頂けることも少なく、俳句が俳苦に句会が苦会になりつつある時期もありましたが、それでも偶に選ばれた句があった日はご機嫌で帰路につき、心は早くも次回の兼題へと向かうような繰り返しです。

句会の度に感じるのは、皆様それぞれの感性の違いや発想のすばらしさとそれを句にされる発句力です。色々参考になりますし、暖かく叱咤激励もして頂き、頑張って続けようと思っています。

初めての試みだそうですが、今年８月の居酒屋での句会は、私の句が初めて２句選ばれたこともあり大変楽しい会でした。

どちらかというと、心情を詠むような句は苦手なので、初心に徹し、美しい風景や街角の光景を見て、スケッチに添えられるような写生の迷句作りに精進しようと思う日々です。

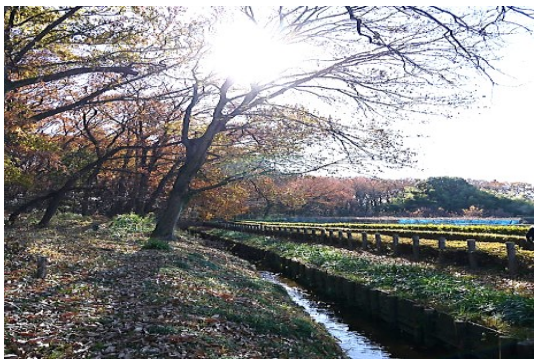
蛍飛び光の糸を紡ぎをり	弦六
書きかけの手紙のように秋の風	丸女
さはやかやヘルメットぬぎサッふわー	蓑
古書の街土用鰻の匂ひして	凡水
新緑の濃くなるゆきて命満つ	洋子
山頂に朽ちし祠や夏の雲	岳徒
くぼみくぼみくぼみくぼみデラウェア	かえる
長雨や季語を肴に秋の夜	栗丸

あるいて三田会東村山　櫻井　正廣　（１５名）

【世話役　藤田和之（S46 年卒）kazuyuki_fujita@hotmail.com　携帯　090-2549-6781 】

薬用植物園　野火止用水

梅雨入り直前の６月３日、８名の参加を得て、西武拝島線東大和駅から、野火止用水に沿って久米川駅迄、約６キロの行程を散策しました。



野火止用水

東京都薬用植物園は 3.2 ヘクタールの敷地の中に、世界中の薬草、草木、約 1,600 種が栽培され、四季折々の草花が楽しめる所です。当日は、運よく「花咲案内人」（ボランティアガイド）に案内を請うことができ、薬事資料館で、各種のケシやインフルエンザ治療薬として知られるタミフルの原料ともなっているトウシキミ（ダイウイキョウ）の果実など、様々な薬草について一般的な説明をして貰いました。

けしの花

その後、八重のドクダミから始まり、各種のケシや大麻などが試験栽培されている区画（勿論立ち入り禁止）など、広大な園内を約２時間掛けて、案内、解説して頂きましたが、多くの植物の根、茎、葉、果実等が医薬品の原料となっていることを再認識しました。

野火止用水は、江戸初期、難工事の末、玉川上水を完成させた老中松平伊豆守信綱が、その功績により、関東ローム層の乾燥した台地のため生活用水に難渋していた自身の領地である野火止に、玉川上水の分水を認められて開削した用水路で、立川市を起点に新座市の平林寺を経て埼玉県志木市の新河岸川に至る全長約 24Ｋｍの用水路です。

戦後の生活様式の変化や高度成長期の周辺地域宅地化に伴い、生活排水による汚染が始まり、1973 年には、東京都の水事情の悪化により、玉川上水からの取水が停止、用水路は次第に暗渠化されて来ました。

しかし、歴史的に貴重な野火止用水を甦らせようとの機運の高まりを背景に、都は 1974 年に隣接する樹林地とともに「歴史環境保全地域」に指定、下水処理水をさらに浄化した高度処理水を流水に活用する「清流復活事業」として、1984 年に流水を開始し、現在に至っています。

また、東大和市では、ホタル（ヘイケボタル）の定着を図るため、生育環境の整備や飼育増殖に取り組んでおり、野火止用水の一角では、毎年５月中旬から６月にかけて、ホタルが見られるそうです。

散策の終点、久米川では、一緒に歩いた田崎さんの「天よし」で、終点で合流のＦさんを交え、ビールで乾いた喉を潤しながら、揚げたての天麩羅定食を堪能し、散策の疲れを癒しました。

新撰組の故郷：日野、高幡不動

11 月 13 日、晩秋の好天下、初参加の紿田さんご夫妻を含め１０名の参加を得て、JR 日野駅から京王線高幡不動駅まで、約８ｋｍの行程を散策しました。

ここ日野は、豪農の家に生まれながら剣術修行を積み、近藤勇率いる新撰組の鬼の副長として、激動の幕末を駆け抜けた土方歳三の生地です。

最初の目的地として、日野市立「新撰組のふるさと歴史館」を目指しましたが、近づくと何やら静か。悪い予感がしましたが、案の定、休館日。気を取り直して、「第１/第３日曜」と記載のある土方の生家「土方歳三資料館」に向かいましたが、ここにも休館との札が。「えっ！」と、門前の案内を良く読むと、当該日時は休館日ではなく、開館日とのことで、門前で取りあえず記念撮影。催行前の事前調査が不十分であったことを深く反省しましたが、この会の目的は「歩くことだから」と言い訳を探した次第です。

この生家近辺のお宅は殆どが土方姓で、歳三の墓がある石田寺では、墓所の三分の一程度が土方家名の墓石でした。

また、この辺りには、石田寺の他に普門寺や安養寺等多くの寺がありますが、それらが皆、真言宗の寺であることに驚いた次第です。

多摩川と浅川に挟まれた日野は、多くの用水路が張り巡らされ、稲作が盛んで、「多摩の米蔵」と言われていましたが、現在でも、市内あちこちに清流が流れる用水路が整備されており、中でも、向島用水親水路には水車小屋も残り、緑に囲まれた静かな散歩道になっています。また、観光協会により、大正中期から昭和の高度成長前期に至る時期の風景写真や祭礼などの行事の写真が市内至る処に掲示されているなど、訪れる人に、当時の面影が偲べるような工夫がなされ、市としての観光促進の姿勢が見てとれました。

終点としたのは真言宗智山派別格本山で、高幡山明王院金剛寺という古刹で、成田山新勝寺、玉嶋山總願寺（埼玉県）と共に、関東三不動の一つ、高幡不動尊として親しまれて来た処です。その参道の「開運そば」で、遅めの昼食をとり、重要文化財の仁王門や不動堂を拝観、紅葉の始まった境内で開催中であった「菊まつり」に出展されている立派なそして珍しい菊の花を愛で、多摩モノレールで帰途に着きました。

高幡不動というと、遠いイメージでしたが、拝島線玉川上水駅まで２０分ですので、市内各所から４０分程度と比較的近いということを認識した日となりました。

ボウリング同好会　田崎　三千男（１５名）

【世話役　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp　TEL　090-6540-3927】

ボウリング同好会は、毎月一回久米川駅周辺の飲食店に午前１１時３０分に集合し.昼食を共にしながら談笑。その後、(だいたい１３時頃)久米川ボウルにて、２ゲームを楽しみます。

マイシューズに履き替え、ボウル選び。

参加人数の少ない時は、１レーンですが、概ね２レーンを使って２チームに分かれて投げています。

良いスコアをだせるに越したことは、ありませんが、[楽しむ][気軽さ][適度な運動]と　とらえると．参加しやすいですね。

勿論、ストライクを取れるよう投げつつも、ピンが残り、２投目でスペアがとれれば、ハイタッチ!!とれなくても、なぜか笑顔。ストライクなら最高の笑顔がこぼれます。

常に和やかな雰囲気に包まれて、あっという間に２ゲームが終了してしまいます。

[実力][運][好不調]など如実にスコアに反映されるのも面白いところであります。

スコアは、時々ホームページに載せておりますので、ぜひご覧ください。

麻雀　同好会　岡崎　尋幸(１６名)

【世話役　田中康之（Ｓ５２年卒）　連絡先　vvtanaka@m7.gyao.ne.jp　TEL　080-6528-0202】

同好会入会は一昨年の本会忘年会の折、当時の河邊幹事長からお誘いを受けたのがきっかけです。都合３回も声を掛けていただき、ならばということで、直後の１２月例会からほぼ毎月参加しています。一頃は毎日のように卓を囲んでいたものが、仲間の異動、転勤そして私自身も缶ビール片手に送別麻雀で送り出されて以来全く機会が無く、やがてリタイアして、もう一生麻雀をやることは無いだろうと思っておりました。２５年振りの再開です。案の定、皆さんの軽快なテンポに付いて行けず、四苦八苦のスタートでしたが、直ぐ雰囲気にも慣れ今や毎月の楽しみとなりました。

成績は勝ったり負けたり(本当は負けたり負けたり)ですが、麻雀とはうまく出来たゲームで、下手でもたまにまぐれで勝つことがあるので続いています。そしてもう１つ、プレー中の何気ないタイミングでの会話

(雑談、世間話、昔話、軽口、ツッコミ、ヨイショ等)がまた面白い。麻雀は個性、人柄が表に出るゲームと言われますが、いつも和気藹藹。毎回セッティングに苦労していただいている世話役の田中さんにはひたすら感謝です。

ところで「健康麻雀」という言葉を耳にされたことがお有りと存じます。「賭けない、飲まない、吸わない」のルールと挨拶、マナーを厳守。また「脳トレ」効果に加え麻雀を通してのコミュニケーションが、とかく引き籠りがちな高齢者が再び社会参加する契機として捉え、介護予防事業の観点から「健康麻雀」を後援している自治体もあります。我が同好会の会場である久米川の麻雀サロンでは毎回そのような光景を目にします。ほとんど高年者ばかりですが、皆さん元気で明るい、そして何とプレイヤーの２/３は女性(当会は全員男性)です。若者の麻雀離れで廃れかけた従来のイメージは一新されます。

斯くて今月もまた半日楽しんで、程好い疲労感と満足感を抱えて家路に着くのです。

食べあるくかい？（グルメの会）　櫻井　正廣（２０名）

【世話役　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com　TEL　090-1767-1617】

焼　肉（6 月 30 日）11 名：

アジア系の料理をと韓国焼肉店を探しましたが、意に叶う処がなく、最終的に、八坂駅近くの「あら川」での開催となりました。ここは、お肉屋さん直営の店だけあり、提供される肉は、カルビ、ロース等の定番からランプ等の希少部位、内臓では、レバー、ハツ（心臓）、ハラミ、そして、肉厚で白いミノ（胃袋：かなりの歯ごたえ）など、全てが上質で、それらを炭火で焼いて頂きました。ただ、炭火は火力が強いので焼きあがりが早く、また、肉が美味しく口どけも良かったので、食べるスピードも速くなってしまった様に思います。最初はビールといつものパターンでしたが、途中から、朝鮮半島の伝統酒であるマッコリに挑戦する人もいました。アルコール度数は日本酒の半分程度（6～8%）ですが、主原料である米の強い甘味が残っていることから、かなり甘く感じ、ギブアップする人が多く、一人Hさんだけが、残すことなく飲み切ってくれました。

ボリュームのある美味しいお肉と好みのお酒、それに気兼ねない会話で、ご飯類の追加注文が不要のほど、満腹になりました。あっと言う間の 3 時間でしたが、ただ、椅子席ではなかったので、腰痛持ちの人や女性陣にはちょっと辛かったかと省みる次第です。

なお、この「あら川肉店」のすき焼きやしゃぶしゃぶ用の肉は評判が高く、年末年始の予約は、かなり早く、終了になってしまうので、早めの予約をお勧めします。（やや、宣伝ぽいですが、事実です）

懐　石（10 月 27 日）13 名：久しぶりに昼間の企画として、八坂/小川駅から徒歩圏内、野火止用水沿いの「草門去来荘」で開催しました。ここは、手入れの行き届いた竹林や樫、クヌギ等が群生する野趣溢れる 600 坪の庭に、古民家を解体した時の古材を使った趣のある純日本風の建物の料理店です。

十月になってから、すっきりしない日々が続いていましたが、当日は、晴天に恵まれ、趣のある建物や木々の間からの木漏れ日は、参加された俳句同好会の会員や写真愛好家の格好の素材となったのではないかと思います。

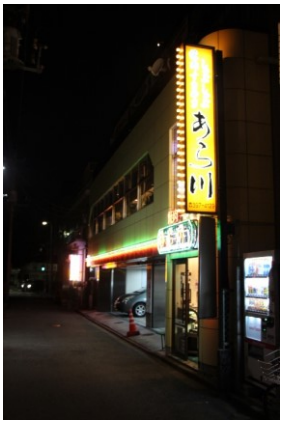
世界文化遺産にも登録されている和食の特徴には、「多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重」、「自然の美しさや季節の移ろいの表現」などがありますが、今回の「神無月　花籠懐石」というコースでは、椀、造りに続く一の籠には、柿の揚げ物、鰻巻、菊菜浸し、九条葱ぬた、無花果白和え等、二の籠には、秋鰆の朴葉焼、きのこご飯等、季節の食材が盛りだくさん。また、夫々の籠には、赤い実をつけたウメモドキ、色づいた柿の葉などが添えられ、正に秋を感じさせる美しい盛りつけに、皆さん、感嘆の声を上げていました。

今回は、夕方以降勤務の人や車の運転をせねばならない人がいたことや昼間ということもあり、いつもと違い、お酒の量は、会計を担当してくれているＴさんから、随分安いねと言う声が出る程、Reasonable でしたが、まるで 30 年来の仲間達の会合かと思われる様に会話が弾み、時の経つのも忘れ楽しい時間を過ごしました。

＝開催したお店の紹介＝

焼肉「あら川」　栄町 3-11-31　　電話：042-397-4129

草門去来荘　　富士見町 1-1-7　電話：042-390-5288



ゴ ル フ 同好会　内田　光郷　（１４名）

【世話役　阿蘇秀男(S49 年卒)　連絡先　nadeshiko.aso.1710@com.home.ne.jp　TEL 080-6772-8473】

第 5 回コンペ開催（10 月 26 日　於：立川国際 CC）

前週までは雨の日が多く、天候を心配していたが、当日は誠に良いゴルフ日和となり、参加者 10 名、日頃の行いが良い結果だと全員で自画自賛。

春（草花コース）に続いて筆者のホームコースの立川国際 CC（奥多摩コース）で開催。このコースはアップダウンが激しく始めてプレーするには難しいコースなので、キャディーさんを付けることになった。その為か春のセルフプレーに比べて、今回は半数の人が１００を切るスコアで、まずまずの成績でした。今年のゴルフ会の成績に於ける際立った点は、コンペの幹事役を務めた人は全て成績が悪い。春は河邊さんが最下位（前年秋 2 位）、秋は阿蘇さんが最下位（今年春は 2 位）、なにかと気を遣われた為でしょうか。もうひとつ特筆すべきは、最年長の廣田さんが、3 位、4 位、3 位と常に上位を占めてきて、今回ついに優勝されたことです。

この会も平成 27 年に始まり平成 28 年からは年 2 回の開催となり、9 月には暑気払い会を実施する等、懇親の実を深めてきており、和気あいあいの雰囲気が出てきています。

塾を卒業して幾星霜（少々オーバー？）を経て、この東村山の地で、年代の違いはあれど、同じ塾で青春を過ごした塾員同士でゴルフを楽しむ等、こんな楽しい余生の過ごし方は無いと思う。もっともっと輪が広がれば良いと思っています。プレー後はお茶と軽食をとり、各自が千円程度の賞品を持ち寄り、それを成績順に好きな品を頂きながら、来年も 5 月にゴルフをすることを約して散会となった。

＜上位３位の成績＞

順 位	氏　名	グロス	ＨＤＣＰ	ネット
優 勝	廣田　進	１０２	３０	７２
2 位	河邊　喬	９８	２１．６	７６．４
3 位	武田和夫	１０２	２５．２	７６．８

カ ラ オ ケ 同好会　加藤　弘子　（２０名）

【世話役　加藤弘子(S39 年卒)　連絡先　朝木直子　azuchima@xc5.so-net.ne.jp　TEL 080-6739-0637】

登録会員数は２０名、同好会としては最大ですが、通常は５、６名が参加しています。

月１回、会場は東村山駅近くの「ビッグエコー」、現役の会員も参加できるよう土曜日の午後７時開始しており、軽い飲食しながら楽しんでいます。日中開催を希望する会員もいますので、久米川の「ＢａｎＢａｎ」で１４時から開催することもあります。

年 1 回、東村山稲門会のカラオケ同好会と懇親会を兼ねて早慶カラオケ会を盛大に行っていますが、組織が大きく、多士済々な方々が多い稲門会に圧倒されています。

近頃は、倦怠期に陥ったような感じで、参加者が固定され、盛り上がりに欠ける気配がありますが、開催連絡の不備があったことも影響しており、その面では改善したいと思います。

カラオケは、程よい参加者数とメンバーが固定しすぎないことが、長く続くコツだと思います。

まず、ほとんど来られていない方は、ぜひ参加をお願いいたします。

近年は、音響装置が高性能化し、声量がなくても上手に聞こえる仕組みになっています。

飛び入り歓迎ですから、トライアルのつもりで、参加して見てください。

活動を予定している同好会

・護身術・健康運動同好会【世話役　佐野新太（H6 年卒）　連絡先 art-s313@ezweb.ne.jp】

☆１２月１日現在の総会員数　８９名

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 200～400 字程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一

メール： higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

編集後記

今号も、たくさんの会員のご協力のもと編集を終えることができました。いよいよ寒さが本格化してきますが、新しい年を元気で迎え、また三田会の会合で皆様とお会いできることを楽しみにしています。各同好会はいつでも新しい参加を歓迎していますので、世話役までご連絡を。日頃の活動はホームページに掲載されていますのでごらんください。（H）今年は三田会行事への参加がなかなか都合付かず、会報のための取材・撮影も果たせませんでした。そんな時、会員の皆様からの投稿があると大変嬉しいし助かります。例えば行事のスナップ写真に一言コメントを添えて送って下されば、特派員写真としてお名前と共に会報に掲載できるのではないかと思います。（I）

編集委員　廣田眞一・佐藤真和・稲葉 光亮